

事業者における放課後デイサービス 自己評価結果（公表）

事業者における放課後デイサービス 自己評価結果（公表）						
					事業所名 SMILE NEXT KURA	
		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	1	
	2	職員の配置数は適切である		2	3	配置数は満たしていても、実際の現場では職員が足りないと感じることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	1	入ってすぐが階段になっており、車いすへの配慮ができていない。 室内は段差などなくバリアフリー化への配慮がなされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2	1	月に1度の職員会議・毎朝の朝礼・昼礼を利用し、申し送りや情報共有の場としている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3		ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		第三者による外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫している	4	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	5			朝礼・昼礼時に、活動内容や流れ、配慮が必要な点等について話し合いをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		支援終了後にしっかり行うことは難しいが、申し送りノートや次の日の朝礼を活用している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		6か月ごとのモニタリングに加え、必要に応じてモニタリングを行い計画の見直しを行なっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5			主に児童発達支援管理責任者もしくは主任が参加している。 必要に応じて他の職員の参加も検討していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	2		学校との情報共有は基本的には家庭を介して行っている。学校への送迎時に、学校での様子・事業所での様子を共有することがある。
	22	医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1	現在該当する利用者様がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1	
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	1	同グループの事業所と合同で活動やイベントを開催することがある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3	2	自立支援協議会への参加はしていないが、放課後等デイサービス連絡協議会・こども部会などへの参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2		送迎時にその日の様子をお伝えしたり、LINEWORKSで活動の様子を伝えている。また、必要に応じて面談を実施している。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3		契約時に説明をさせていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3		
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	1	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2		月間の活動予定表や外出活動に関するおたよりの配布をしている。また、日々の活動の様子については毎支援後にLINEWORKSで発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	2	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		契約時に説明をさせていただいている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年2回の防災訓練・災害避難計画の作成を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載している	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		